

## 雑 草 通 信

船津好明 1936 年生まれ

思いつくままに綴り、書き直しを繰り返す、意を尽くそうと文を練るのは、心身の劣化を遅らせるのに役に立つと考えました。内容は専門外ですから、学問的には書けません。勝手に他人に送りつけるのは、この歳になった私の新たな冒険です。他人様にはどうでもよい内容かも知れません。差し障りがあるかも知れません。浅はかと思われるかも知れません。破棄して下さい構いません。(雑草の「雑」は内容が様々であること、「草」は書き留めたものの意味です。)

### 交通安全

交通事故の報道は日常のこと、事故は偶然に起きるもの、意図しない過失によると思っていたが、意図的な犯罪のような事故もある。誠に嘆かわしい。事後に思えば、避けられたと思われるものもあれば、避けられなかった不運と思われるものもある。時世の一つの現象か。

時々見かける場面だが、歩行者が横断歩道を渡る際、正面の信号が赤なのに、左右に車がないのを見て渡り出す。急いでいるのであろう。車が来ないのに何秒も立って待つのが耐えられなかったものか。事故にはならないし、渡って誰も損をしないし、自分は数秒の時間の得をしたと思うものか。当人は赤信号の場合、車の有無にかかわらず渡ってはならないことを知らない筈はないのだが。

しかし、渡っても誰も損をしないという考えには問題がある。その場面を子供が見ていたとする。子供は是非の分別ができにくく、大人の行為を真似て赤で渡り、事故に遭う恐れがある。学校等では子供への交通安全の教育で、赤では渡らないよう教えている。大人が違反すると子供等が真似て事故を招く危険を孕んでいる。だから交通法規では、事情を問わず一律に、赤では渡ってはならないことになっている。歩行の場合だけでなく、自転車についても時々見かける。もし、歩行者や自転車が赤で渡るのが増えてくると、大人を含めて安易に真似る人が増え、交通法規軽視の風潮を助長することになる。何秒かの時間を惜しまず待ち、安全に徹すべきである。

近年は自動車の電動化が急速に進んでいる。過去には手動であった窓ガラスの開閉、変速機、その他の操作の全部または一部の電動化が進んでいる。運転までが電動化されようとしている。

時々痛ましい事故を聞く。洪水などで車が水に漬かり、扉が水圧のため開かず、窓ガラスの開閉は電動だが電気系統が効かず、脱出できずに死亡すると言う事故だ。以前は窓ガラスの開閉は手動で、ハンドルを回せば開けられたが、今はハンドルがなくなっている。その代りのガラスを叩き割る道具(金鎚・ハンマー)が備えられているから、ガラスを割れば脱出できる理屈にはなっている。ところが非常時には落ち着いた行動ができないから、ハンマーを取り出したりガラスを割ったりすることができないのが現実であろう。平時にハンマーでガラスを割る訓練ができないことも、もう一つの問題である。

私は以前、自動車会社にこのことで投書したことがある。控えが残っているので、以下に本文を掲げておく。会社からの反応はなかった。

『車の自動化が進んでいることは結構だが、反面、問題に思う点がある。前席(運転席と助手席)の脇のドアガラスの開閉が、以前は手回しハンドルだったが、現在は電動式になっている。大雨等で動けず、水位が座席辺りまで来ると、ドアは水圧で開けられず、電気系統は働かず、ガラスは開けられない。ハンマーでガラスを割れば脱出できる理屈だが、気が動転して使えず死亡したと思われる例が何回もある。メーカーとしてはハンマー装備で万全だと思っている様だが、実際はそうでない。ハンマーの使用は訓練が不可能だということも問題だ。

解決策：電動式はそのままでもよいとして、従来の手動ハンドル式のドアガラスの開閉装置を復活、併設して欲しい。スペースはある。』

私は高齢だが、自分の動作が遅く、感覚が鈍くなっていることは自覚している。それでも時々運転している。初心者の気持ちになって、事故はいつでも起き得ると肝に銘じている。特に加害事故は起こさないという決意でいる。運転の度に危ない目に遭う近況だが、その度に気を引き締めている。

最近では高齢者の生き方について、新聞記事などで目にすることが多い。引き籠らないで、進んで社会活動することは良いことと説く記事を読んだ。自分の体力、気力をわきまえてのことは言うまでもない。その記事の中で、自動車を運転することが肯定的に書いてあった。私は気を良くした。運転は私にとっては最早冒険だが、まだ事故には至っていない。高齢者には免許の返納を勧める時世だが、私は今のところ返納をためらっている。

自動機器は今や生活全般に広がりつつあり、人を、手足を動かさなくて済む傾向に導いている。時の流れなのか。前述の車の自動化のことだが、高齢者は意識して自分の手足をしっかりと動かして運転するのがよい。私はこのことに拘って実行している。機械任せでは却って危ない。